

抗議声明

竹中平蔵氏の発言「医療ムラを解体しないと、日本はよくなるらない」に抗議する

2021年8月27日

大阪民主医療機関連合会

会長 大島 民旗

8月24日、竹中平蔵氏はツイッターで「医療ムラを解体しないと日本はよくなるらない」「コロナ問題最大の課題は、病床不足で医療ひっ迫すること。病床を増やせという、医療関係者は『できない』理由を並べたてる。小泉元首相は官僚に対し『できない理由をいうのではなく、専門家ならどうしたらできるか案を持ってこい』と常に述べた」と持論を展開し、「『医療ムラ』を解体しないと、日本はよくなるらない」と主張されました。

私たちはこの発言に対し、かつて小泉政権時に、郵政民営化担当大臣などを歴任し、現在も大手派遣産業の会長を務める氏の発言に、断固抗議します。

コロナ問題最大の課題は、感染抑制に最も効果的な人の流れの抑制に必要な、補償をセットにした自粛を十分行わず、オリンピック・パラリンピックを強行し感染拡大に拍車をかけた現在の政府与党の失政です。海外にはより厳格な感染抑制策で新型コロナウイルス感染症による犠牲者を押さえ込んでいる国がいくつもあります。

竹中平蔵氏の発言は政府の責任を医療機関側に転嫁することによって政治への批判を逸らすことを意図したもので、現場の地域医療機関と市民にあいだに分断を持ち込むものです。またこの1年半、感染リスクにさらされながら患者の診療に当たってきた医療者の良心を砕くものです。新型コロナ患者の診療は病床だけで無く医療スタッフのマンパワーも必要であり、世界的に見ても少ない医療者では限界があります。

まさに今この瞬間にも、新型コロナウイルス感染症に立ち向かっている現場の医師・看護師等の医療従事者、感染拡大であっても必要なサービスを中断することができない介護従事者の真の姿を真摯に見つめ、発言を撤回し謝罪することを求めます。

=以 上=